



まつりのひ

紙芝居「まつりのひ」

(全学年向け)

脚本:にいの ゆうひこ 絵:しもかわら ゆみ (12枚・表紙含む) 製作:公益社団法人「小さな親切」運動本部

① 海の近く、静かでのんびりしたどうぶつ村。ある日、遠くの街から新しいお友だちが引っ越してきました。



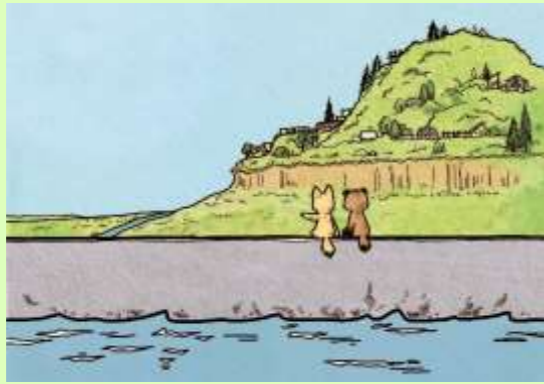
② 人見知りをするキュウスケは、新しい村での生活にドキドキしています。でも、クラスみんなが優しく、少し安心しました。



③ 放課後、クラスメイトのコタローが村を案内すると、キュウスケに声をかけてくれました。でも、そこを通りかかったポンタはなぜか一緒に来てくれません。



④ 案内された防波堤から見ると、数年前の津波の被害で高いところにしか家がありません。その津波で家が流されてしまったポンタが、海の近くを怖がっていると、コタローが教えてくれました。



⑤ コタローの、怖いながらも前向きな気持ちに、キュウスケも前向きになっていきます。



⑥ そこに熊のおじさんが通りかかります。おじさんは、キュウスケに村でとれたイチゴをくれました。どうやらコタローはおじさんに何かを頼まれているようです。



⑦ 村を津波が襲ってからずっと中止になっていた村祭りが、新しい広場で復活するようです。コタローは、その村祭りで出し物を頼まれていると話してくれました。



⑧ 大きな杉の木の下で、村のみんなが村祭りの練習をしています。キュウスケは、みんなが村祭りを大好きだと知りました。コタローは、そんなキュウスケを、物まねショーと一緒に出ようと誘います。



⑨ 化けるのが苦手なキュウスケ。変身名人のポンタに特訓を受けています。今までできなかったことが少しずつできるようになって、自信もついてきました。



⑩ 明日にせまった村祭り。でもキュウスケの変身はなかなか上手いきません。そこでポンタと一緒に出てほしいとお願いします。ポンタは、海の近くは怖いけど、頑張ってみると決意します。



⑪ コタローの司会でキュウスケとポンタが物まねイリュージョンを始まりました。ふたりは一生懸命練習してきたおかげで、次々と村人に変身していきます。見ていたみんなも大盛り上がり。



⑫ 物まねイリュージョンは大成功。キュウスケは化けるのも、この村も好きになりました。ポンタは少し、海嫌いを克服しました。コタローはまた魚釣りに行けるとよこびます。次はキュウスケも一緒にね、と言いながら。

